

学校保健安全委員会だより

ふじみ野市立西原小学校保健室

令和7年7月号

今年度の第1回学校保健安全委員会が7月2日(水)に西原小学校の1階会議室で開催されました。連日暑い中、またお忙しい中保護者の方にお集まり頂きました。本当にありがとうございました。児童の身体に関することや安全面についてお話や課題があり有意義な時間となりました。



～安全部より～

- ・自他の生命を尊重し、生涯にわたって自ら安全な生活を送るために、西原小学校では、学期ごとに5月交通安全教室や毎学期1回実施している避難訓練があります。
- ・安全点検は毎月10日に行い、外トイレができたことが加えられ、今年度から速やかな避難のため大井西中学校区で男女別の名前の順で集合することになりました。また、ふじみ野市の防災訓練は、11月14日県民の日です。

～体育部～

・新体力テストについて

「あなたの体力プロフィールを知ろう～埼玉県体力標準値、全国平均値比較～」にそれぞれの課題がアドバイスのところにのっていますので、参考にしてください。これから体力をつけていく上で取り組んでいけることについて、今年度は、体育委員の児童と少しでも多くの運動できる機会ができるような取り組みをしていきたいと思います。1学期はボール投げ教室、2学期はマット教室や鉄棒教室、跳び箱教室などを企画しています。

～生徒指導部～

- ・「よい子の一日」より登校時間の確認8:00～8:15の間に登校、休み時間は外遊びを推奨していますが、連日暑い日が続いているため実施できない日がありました。学校では、ろう下は静かに右側を歩行、自転車は校門の内側の点字ブロックのないところにきちんと並べて置く、サッカーゴール等危険な所には登らないなどルールを守りましょう。夕方は、4月～9月は午後5時まで、10月～3月午後4時30分には家に帰りましょう。また、自転車に乗る範囲(1・2年家の周り、3・4年西原小の地区、5・6年旧大井町)児童が楽しく安全に生活するために、ご家庭でも「よい子一日」を話題にしてください、ご協力をお願いします。

～保健部～

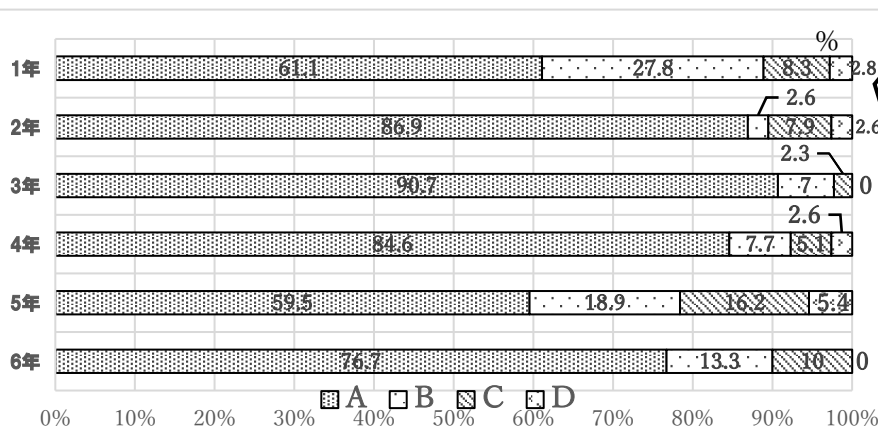
○学校保健計画について

学校教育目標「かしこく なかよく げんきよく」を基に保健目標「自分の健康に関心を持ち、進んで健康に努めようとする児童の育成」から保健教育(保健体育・理科・生活科・家庭科・総合など)、保健管理(健康診断、救急処置など)組織活動(学校保健安全委員会)に、心身の健康の予防や環境衛生についても組み込まれています。

○令和7年度発育測定結果について(5月ほけんだよりに掲載)

埼玉県の昨年度(身長・体重)平均男女別の比較になります。2年女子身長、4～6年男子体重、6年女子体重は、埼玉県平均より上回っていました。6年男子身長、1・2年男女体重、5年女子体重は、県平均と比べて0.5未満とほぼ平均並みでした。

○視力検査の結果 (A1.0以上、B0.9～0.7、C0.6～0.3、D0.3未満)



Aの1.0以上が最も多く、学年では3年、2年、4年が80%を超えています。全校で平均するとA76.6%でした。(矯正視力を含む)治療勧告については、昨年度C以下でしたが、学校医の関谷先生から今年度B以下の児童が対象となりました。

○歯科健診結果と治療率について

検査人数	216	異常なし	要観察	要医療	治療済	治療率
		143	13	60	21	35.0%
		66.2%	6.0%	27.8%		

異常なしが143名で66.2%、要観察・要医療は合わせて73人33.8%、そのうち治療済は21人35%、昨年は、85人43.5%、で治療済は38.5%（年度の最終は、約60%でした。）

今年度も4・5月に学校歯科医の松村先生にお世話になりました。また、5月には、1・4年生が川越支部の歯科衛生士さんから主に歯の磨き方についてご指導いただきました。2学期以降では、保健センターの歯科衛生士さん、管理栄養士さんから6年生が歯周病についての授業も予定されています。就学时健康診断の時には、保護者向けのお話を保健センターの歯科衛生士さんからいただきます。もうすぐ夏休みになりますので、保健福祉委員会で歯みがきカレンダー、家庭でカラーテスターを実施、治療がまだの児童には、再度治療のお知らせを出します。

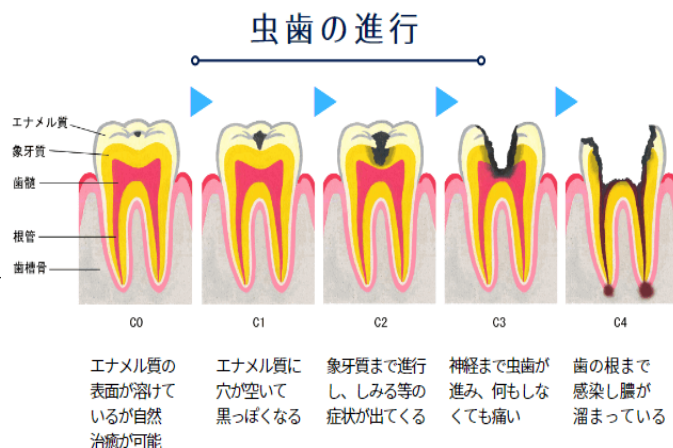
◎学校医さん・学校歯科医さんより◎

西野先生より

- ・熱中症は、予防が大事、体がいきなりは大変、暑熱順化。友達同士遊ぶ時注意！！（遊びに夢中になってしまう）子どもは大人と違って予測できないので、具体的ルールを伝える必要があります。
- ・今流行っている感染症は、溶連菌（百日咳なども都内で流行っている）ですが、地域差があります。水疱瘡など飛沫感染は仕方ない場合も。子どもの時に免疫をつけておくことも大事だそうです。みなさんが子どもの時良かった事をしてあげてください。ぜひ、楽しい学校生活を送ってください。

松村先生より

- ・治療についてむし歯はそのままにしない方がいい。
むし歯の進行度は、初期のC0から根っこだけになったC4までの5段階で分類され、数字が大きくなるほど重症度が増します。『むし歯の治療をしましょう』
歯医者さんへ行って検査や治療をして頂くことをお勧めします。
- ・予防として、①食事の時によく噛む
（だ液の分泌をよくすると口腔内が変わる。）
②歯ブラシは歯垢をつる、
食後30分してから歯をみがく。
③キシリトールを食べる（お腹がゆるくなるので注意）
- ・むし歯は、酸性になると起きて、
歯周病はアルカリ性になると起きやすくなります。



<朗報>

2030年頃、歯が生えてくる時代がやってくる！
今歯が生えてくる薬が開発されているそうです。

<保護者の方の感想>

○日々、学校の先生方が子どもたちの安全、健康について様々な取り組みをしている事が改めて知ることができました。学校医の西野先生からは熱中症や感染症の傾向や対策について、学校歯科医の松村先生からは歯の健康の保ち方について詳しいお話を聞かせて頂く事ができました。参加することができて良かったと思いました。

○子ども自らが健康に努めようと思えるような習慣で見守ろうと思いました。子どもだけで遊ぶと遊びに熱中して暑さに気づきにくいので、気をつけて欲しいことを具体的に伝えようと、むし歯は、だ液のpHの度合いによってなるかどうかが決まることや歯みがきは、食後30分後がいいが、学校の歯みがきは食後歯を磨く習慣づけのため、家では食後30分後にみがくようにすると良いお話をきいたので、家でも声かけをしたいです。